



## ○営業時間の変更について

令和6年1月31日(水) 15時まで営業

令和6年2月29日(木) 15時まで営業

「梅の宴」期間中の土曜日(2/3・2/10・2/17・2/24・3/2・3/9) 16時まで営業

令和6年3月29日(金) 13時まで営業(決算棚卸のため)

令和6年3月30日(土) 臨時休業(決算棚卸のため)

令和6年4月1日(月) 12時より営業(決算棚卸のため)

## ○みかん剪定講習会について

令和6年2月16日(金) 9時30分

参加される方は2月9日(金)までに湯河原営農経済センターまで申し込みをお願いします。

今回の開催場所は鍛冶屋地区になります。真鶴地区の開催予定はありません。

## 【果樹】

### 縮間伐及び園地環境の改善

高品質果実の生産、低樹高化のためには、十分な樹間距離が必要になります。密植園では、樹高が高くなり作業性が低下し、また日陰になるため高品質果実の生産ができません。剪定に入る前に縮間伐をして十分な樹の間隔を確保しましょう。併せて、園地の防風林等の手入れもしましょう。

## 【温州みかん】

### 施肥 1月~2月

○苦土タンカル 200kg/10a 酸性土壌の是正が目的です。

\* 葉色の悪い園(微量要素不足の可能性あり)では、マルチサポート 80kg/10a を使用

### 整枝剪定(大津・青島) 2月中旬以降(厳寒期を過ぎた頃)から始めましょう。

大津・青島は大果系です。剪定量が多いと大玉果となります。

中玉果の生産のために隔年で管理方法を変えましょう。

#### ① 表年の樹

ハサミ剪定を主体で主枝の切り下げ、下垂した枝の切返し、密生した夏秋梢の整理、強い夏枝の発生部からの除去等をしましょう。剪定量を増やすと大玉果の原因になります。剪定量は1割以下を目安とします。

#### ② 裏年の樹(昨年着果が多かった樹)

ノコギリ剪定を主体に樹形を整えましょう。樹形は3本主枝の開心自然形が基本になります。

剪定量が多いと、翌年大玉果が増えますので、剪定量は2割以下を目安とします。

#### ③ 共通

薬剤散布や収穫の作業性向上のため、樹冠内部への入り口を北側に作りましょう。

強い内向枝・病害虫被害枝・枯れ枝は除去しましょう。

## ——【湘南ゴールド】——

### 収穫

12月以降3月にかけて糖度は上昇し、クエン酸濃度は低下する。外観にとらわれず、食味を確認してから収穫するが、凍害が心配される場合や地域では早めの収穫をすることもあります

### 貯蔵

貯蔵は貯蔵箱やコンテナを使用してから行う。湿度保持のため数枚の新聞紙で覆う。コンテナを使用する場合は七分目の入庫量とし4~5段積みにて不織布で覆う。この時期の貯蔵庫は入庫量が少ないので湿度保持に努める。

## ——【レモン】——

### 施肥

1月~2月

○苦土タンカル 200kg/10a 土壌酸度を適正に保つ。

## ——【う め】——

### 病害虫防除

\*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。

1月

○灰星病(開花2部咲き期~満開期) ベルクート水和剤 収穫30日前 3回 2,000倍 50g/水100㍓

※ 灰星病の罹病枝が分からない方は、最寄りの営農経済センターにご確認ください。また、十郎を栽培している場合は、十郎の開花状況に合わせましょう。

※ 灰星病で枯れた枝は開花期までに剪除して、園内に残さないことが重要です。

3月上旬~3月下旬

○かいよう病 コサイド3000 硬核期まで 2,000倍 50g/水100㍓

(薬害軽減のためクレフノン200倍 500g/水100㍓を加用する)

3月中旬~3月下旬

○アブラムシ類 スミチオン乳剤 収穫14日前 2回 2,000倍 50ml/水100㍓ 又は

チェス顆粒水和剤 収穫21日前 2回 5,000倍 20g/水100㍓

○灰色かび病・黒星病 ポリベリン水和剤 収穫30日前 3回 1,000倍 100g/水100㍓

※ 適期は落弁期(花びらの80%が散った時期)であるが品種により開花時期が異なるので状態に合わせて散布しましょう。

## ——【か き】——

### 病害虫防除

○ヒメコスカシバ 幼虫の生息場所をなくすため、粗皮削りを行いましょう。特に太い枝の分岐部は重点的に削りましょう。

※ 特に伊豆早生は被害を受けやすいため発生に注意しまししょう。

※ 越冬病害虫、樹幹害虫は荒皮削り以外にも耕種の防除(落葉、枝などの園外廃棄)を行うと防除効果が高いです。

※ スカシバ類多発園では開花期までにフェニックスフロアブル(開花期まで200倍1回500ml/100㍓)主幹部及び主枝に散布する。粗皮を剥いで処理すると効果的です。

### 整枝剪定

2月末までには終了しまししょう。

樹形は開心自然形が基本になります。主枝3本を理想とし、低樹高化に取り組みまししょう。

柿は昨年発生した枝の先2~3芽から出た新梢に花をつけますので、枝の先端は切り返しをせずに

切り戻し剪定を心掛け、主枝・亜主枝の近くに、30~50cm毎に充実した結果母枝を配置していきます。

## 【キウイフルーツ】

\*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。

**病害虫防除** 3月中旬(発芽前)

〇かいよう病 ICポルドー66D 収穫後～発芽前 50倍 2,000g/水100ℓ

〇キウイヒメヨコバイ アグロスリン乳剤(劇) 収穫7日前 3回 2,000倍 50ml/水100ℓ

**剪定**

剪定が終了していない園は、速やかに剪定を終わらせましょう。

## 【お茶】

**整枝** 3月中旬(寒害がなくなるころ)

秋整枝をしていない園では、摘採面を揃えるため浅く整枝しましょう。

秋整枝をした園で、遅れ芽や立ち葉が出ている園では再整枝(化粧ならし)をしましょう。

※再整枝の目的は1番茶の品質低下防止です。ごく浅く整枝しましょう。深刈りは減収につながります。

**施肥** 施肥の前に敷き藁・敷き草等をよけておきましょう。

春肥は、一番茶の芽の生育と品質に効果があり、茶樹はこの時期に平均温度が10℃以上になると根が動き始めて、樹体内の養分の転流が始まります。

分肥(2回に分ける)土と混和させると肥効が高まります。

2月下旬 足柄茶配合 O33 3袋/10a 3月中旬に足柄茶配合 O33 2袋/10aを1回ずつ施肥しましょう。

**定植** 3月

新植及び改植する場合は3月に行います。3月の定植に合わせ2月に定植準備をしましょう。

## 【ジャガイモ】

2月中旬～3月上旬

**畑の準備**

〇馬鈴薯専用配合 O52 10kg/a 重焼リン 2kg/a 植付けの半月前までに全面施用し混和しておく

**種イモの準備と植付け**

植付け前に、一片40～50gの大きさに切り、それぞれに芽がいくつついていることを確認し、芽が集まっている頂部を切る。切った後2～3日程陰干しし切り口を乾かす

種イモ量の目安: 15～16kg/a

そうか病 アグリマイシン-100 40～100倍

植付前 1回 5～10秒間種いも 浸漬

ネビジン粉剤 6kg/a 植付時 1回 全面土壌混和

〇種イモの黒あざ病による腐敗防止 ベンレート水和剤

種イモ重量の0.3～0.4%をまぶすと良い (例) 3～4g/種イモ1kg

幅60㍍程の畝に深さ7～8㍍の溝を作り、種イモの切り口を下にして30㍍間隔に植付ける

※気温が高くなる場合には、種イモの萌芽が進みやすくなります。種イモは通気性の良い容器に移し替え呼吸熱がこもらないようにし、温度2～3℃の暗所で保管しましょう。また、種イモの呼吸量が増加すると黒色心腐が発生しやすくなります。発生防止のため温度管理を徹底し高温を避け、換気を十分に行いましょう。

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

## ねっとショップのお知らせ

現在回覧中の「みかん春肥料」、「みかん春農薬」の予約注文ですが、ネットショップに2月1日（木）～2月10日（土）の期間掲載されます。回覧で注文するよりねっとショップで注文するほうが値引きが大きくなります。是非、この機会にネットショップの登録を試みてはいかがでしょうか。ねっとショップ登録についてはセンター職員がお手伝いしますので、お気軽にお声掛けください。

ねっとショップ会員登録画面へのアクセス方法

<https://jac-toru.zennoh.or.jp/>



新規会員登録はこちらから



QRコードからもアクセス可能です。

## 令和5年産 湘南潮彩レモン初出荷!!

令和5年12月、「湘南潮彩レモン」を約2トン集荷いたしました!!

湘南潮彩レモンは、当JAオリジナルブランドとして名称・ロゴマークを商標登録しており、業者や市場から多く要望されています。

「湘南潮彩レモン」は令和6年5月までの集荷となりますのでレモンを栽培されている方は、ぜひJAへの集荷をご検討ください!

お問い合わせは、最寄りの営農経済センターまでご連絡ください。